

広島県地域公共交通ビジョン（素案）について

1 要旨・目的

今後の持続可能な地域公共交通の維持・確保に向けて、「広島県地域公共交通ビジョン」（以下、「ビジョン」という。）を策定する。

2 現状・背景

- 人口減少・コロナ禍等、社会構造の変化による移動需要の減少
- 高齢化の進展等による顕在的・潜在的な移動困難者の増加
- 運転士不足等による交通サービスの持続可能性の低下
- 環境意識の高まりや頻発する大規模災害時における地域公共交通の位置づけの見直し

3 ビジョンの概要

(1) ビジョンの位置付け

公共交通の目指す姿とその実現に向けた施策の方向性を示す「ビジョン」であるとともに、県の施策やKPIを記載した「地域公共交通計画（国補助と連動）」として策定。

(2) 計画期間

令和6年度～令和10年度（5年間）※今回新たに策定

(3) 検討体制

広島県地域公共交通協議会（別表のとおり）

(4) 根拠法令

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）

4 スケジュール

	令和4年度	令和5年度			
	3月	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ビジョン	骨子案	素案(施策編)			最終案
広島県地域公共交通協議会	第4回(骨子案) ●	WG ... WG	第5回(施策) ● ↑ ↓ エリア分科会 ↑ ↓ 市町交通会議	第6回(素案) ● ↑ ↓ エリア分科会 ↑ ↓ 市町交通会議	第7回(最終) ● ↑ ↓ エリア分科会 ↑ ↓ 市町交通会議
県議会(総務委員会)		骨子 ●			素案集中審議 ●

ビジョン策定

5 その他（関連情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/267/koukyoukoutukyougikai.html>

（県HP：広島県地域公共交通協議会）

別表

広島県地域公共交通協議会委員

	職名	氏名
学識者	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授【会長】	藤原 章正
	福山市立大学大学院都市経営学研究科教授【副会長】	渡邊 一成
	広島工業大学工学部環境土木工学科教授	伊藤 雅
	呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授	神田 佑亮
	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授	力石 真
事業者	公益社団法人広島県バス協会専務理事	赤木 康秀
	一般社団法人中国旅客船協会専務理事	迫田 武利
	一般社団法人広島県タクシー協会専務理事	山口 昭博
	中国地方鉄道協会専務理事	田中 茂
	西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部広島支社副支社長	奥井 明彦
利用者	広島県高等学校PTA連合会会長	岡崎 光治
	社会福祉法人広島県社会福祉協議会常務理事	小池 英樹
	公益社団法人広島消費者協会会長	栗原 理
	一般社団法人広島県観光連盟専務理事	岡村 清
行政	広島県市長会 三次市長	福岡 誠志
	広島県町村会 坂町長	吉田 隆行
	国土交通省中国運輸局交通政策部長	阪場 進一
	広島県地域政策局長	杉山 亮一

計 18 名